

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく

国立第七小学校 平成25年6月28日 NO.26



オー君 「うわあー！タマムシだ。おいらのお気に入りの虫でーす。」

モンタ博士「きれいな虫だね。国立市ではタマムシはもう見られないかと思ってたけど、学校の近くにはいっぱいいるんだね。モンタ博士はとてもうれしいなー。」

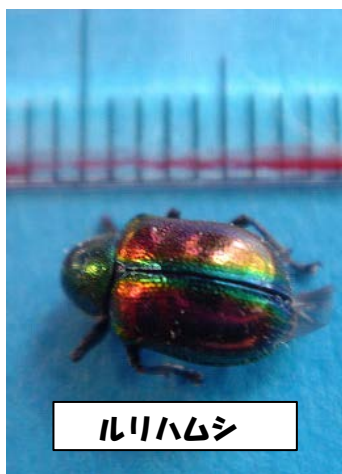
花ちゃん 「1年1組のSくんは、タマムシをラーメン屋さんのおじさんからもらったそうですよ。」

オー君 「2年1組のTくんは、バス通りのサクラの木の下で、自分で見つけたんだって、すごいね。おいらもほしいなー。」

モンタ博士「1年1組のMくんは、おうちのにわで、コクワガタを見つけたらしいよ。それに、あちこちでガマダラカミキリが見つまっているよ。第七小学校のまわりには、豊かな自然がいっぱいあって、最高（さいこう）だね。」

花ちゃん 「ところで、タマムシは、どうしてこんなにピカピカ光ってきれいななの。」

モンタ博士「タマムシの他に、ルリハムシとかヒシモンナガタマムシとかルリジガバチなどもきれいだよ。」



オー君 「光ったり、きれいだったり、何か意味があるんですか。」

花ちゃん 「偶然（ぐうぜん）に光るなんて、へんですよね。どんな意味かな。」

モンタ博士 「光ることによってどういうことになるかを考えてみようよ。」

オー君 「こういう虫たちは、夜は飛ばないと思うよ。だって、太陽の光に反射（はんしゃ）して体が光るようになっているでしょ。」

花ちゃん 「こんなに光っていたら、目立つんじゃないかな。それに、敵（てき）にねらわれないかしら。」

オー君 「敵と言ったけど、どんな敵かな？」

花ちゃん 「どんな敵？うーん。そうね・・・あ！わかった。敵って鳥じゃない。」

モンタ博士 「そうだね。鳥だけじゃないと思うけど、虫にとって鳥はこわいものだね。」

オー君 「あ！そうだ。田んぼでさ、CD をぶらさげたり、キラキラ光るテープみたいなものを見たことがあるぞ。」

花ちゃん 「そっか。それは、みんな鳥よけのためですよ。」

オー君 「光る虫は、自分の体を敵からねらわれないように、自分の体を光らせているということですね。モンタ博士。」

モンタ博士 「そのとおり。モンタ博士もそれでいいと思うけどね。この『国立てくてく』は、インターネットで全世界の人が見られるようになっているからね。もし、もし、ちがう意見や正しい答を知っている人は、連絡して教えてほしいね。」

花ちゃん 「そうですね。どなたか、教えてくださいーい。」

オー君 「よろしく願いしまーす。」